

## 2001年度第7回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2002年(平成14年)1月30日(水) 16:15 ~ 16:55

場所：L-911

出席者：計 93名

欠席者：計 21名

配布資料：

- (1)2001年度第6回 長期計画企画拡大会議 議事記録
- (2)検討専門委員会 発表済企画書(案)-中間報告- 一覧表

会議資料(プロジェクタ投影)：

- (1)専門部会各検討専門委員会の企画書案(中間報告)
- (2)2002年度 長期計画企画拡大会議 開催予定

### 議 事

#### 1. 専門部会各検討委員会の進捗について

専門部会各検討専門委員会における検討事項のうち、理念や具体的なポイント等をまとめることができた計画について、企画書案(中間報告)として発表した。

(1)アカデミック・プラン等検討専門第1委員会 (報告：委員長・讃井学務担当副学長)

(a)「学部・学科体制の基本構想」

スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに説明した。

(質疑応答)

Q. セメスター制度とは、現行の制度とどのように異なるのか。

A. 半期完結の授業形態である。1年間かけて行う科目などは、週2回の開講が必要ということもある。一気に導入ということはずせず、移行期間を設け、段階を踏んで実施していきたい。(委員長・讃井学務担当副学長)

(b)「新学部(ヒューマン・ディグニティー：仮称)構想

スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに説明した。

(質疑応答)

Q. 新学部改組される4つの学科について、現在の状況と比べて違いはあるのか。全く異なるカリキュラムとなるのか。

A. 従来通りのカリキュラムを引きずるのではなく、各学科が相互に協力・連携し合うカリキュラムとするつもりであるが、詳細はこれから検討する予定である。(委員長・讃井学務担当副学長)

Q. 学部の内容・特色から見て、「人間学」が非常に重要となるが、文学部人間学研究室との関係はどのようになるのか。

A. 十分な協力体制を組むことが必要と考える。しかし、現段階では、神学部と人間学研究室との結びつきについて検討を行っているところである。(委員長・讃井学務担当副学長)

Q. 卒業・修了後の学位はどうなるのか。

A. 今後検討することとなる。(委員長・讃井学務担当副学長)

(2)アカデミック・プラン等検討専門第2委員会 (報告: 委員長・讃井学務担当副学長)

(a)「グローバル・スタディーズ研究科(仮称)」構想

スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに説明した。

(質疑応答)

Q. 外国語学研究科の改組となっているが、研究科では正式な話題とはなっておらず、消極的な意見もある。関係する専攻にとっては重要な問題であるので、具体化決定の前に検討する場を設けてほしい。

また、新しい研究分野は、認知されるまでに時間がかかり、科学研究費補助金などの資金の獲得が難しい。しかも、どのような学位を与えるかによって、学生の就職・留学に影響する。学位によっては、就職・留学は難しいという認識を持ってほしい。

A. ディシプリンをしっかり身につけ、その基礎の上に学際的研究を行うことが重要であり、そういう認識を持っている。指摘された点は、非常に重要なことであると受け止めている。そのような点も含めて、今後十分に検討していくこととする(委員長・讃井学務担当副学長)

(b)「公共政策研究所(仮称)」構想

スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに説明した。

(3)上智短期大学検討専門委員会 (報告: 委員長・カスニエダ上智短期大学長)

(a)「上智短期大学検討専門委員会 進捗状況」

スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに、委員会において現在検討されている3つの案について説明があった。今後さらに検討を進めていくこととする。

なお、委員から、「語学、哲学、宗教学、文学」などは、「Humanities」という表現の方が適切ではないかとの指摘があった。

2. 各検討専門委員会 発表済企画書(案) 一覧表について

粕谷総括事務局長から、配布資料「検討専門委員会 発表済企画書(案) -中間報告- 一覧表」につい

て説明があった。

今後、個々の企画案(中間報告)について更に検討を加え、「選択と集中」の方針に照らして、企画内容の精度を高めるようにする。2002年3月8日(金)開催の長期計画企画拡大会議において、新ホフマン計画(案)として提出できるものはその準備を進めることとする。

### 3. 2002年度 長期計画企画拡大会議 開催予定について

粕谷総括事務局長から、2002年度の長期計画企画拡大会議の開催予定について説明があった。

- 日程については、現在のところあくまでも「案」である。詳細については、追って案内をする予定。
- 開催日程(案)は以下の通りである。原則として、月一回、第1水曜日の開催としている。

4月	(休会)
5月	2002年5月1日(水)
6月	2002年6月5日(水)
7月	2002年7月3日(水)
8月	(休会)
9月	2002年9月25日(水) (大学評議会終了後)
10月	(休会)
11月	2002年11月6日(水)
12月	2002年12月4日(水)
1月	2003年1月29日(水) (大学評議会終了後)
2月	(休会)
3月	2003年3月5日(水)

### 4. 次回会議について

粕谷総括事務局長から、次回の長期計画企画拡大会議について説明があった。

- 次回は、2002年3月8日(金) 午後2時～午後5時、L-911で開催する。
- 議題としては、各委員会からの中間報告の続きと、最終計画案の審議を行う予定である。最終計画案が承認された場合は、新ホフマン計画(案)として、理事会に上程されることになる。
- 会議終了後に懇親会を行うので、是非出席をお願いしたい。

以上